



2022年10月20日

各位

会社名 ワンダープラネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 常川 友樹
(コード番号: 4199 東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 佐藤 彰紀
TEL. 052-265-8792

当社子会社におけるブロックチェーンゲームの 共同事業展開に関する契約締結に関するお知らせ

当社シンガポール子会社であるWPBC Pte. Ltd. (以下「WPBC」という。)は、Game Changer (SGP) Pte. Ltd. (以下「Game Changer 社」という。)と、グローバルエリアにおけるブロックチェーンゲームの共同事業展開に関する契約 (以下「本契約」という。)を締結しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本契約締結の背景

WPBCは、2022年7月13日に公表しました共同事業展開に向けた基本合意書を締結して以降、Game Changer社との間で詳細な業務提携内容やゲームの開発内容、サービス提供の方針などについて協議を行い、昨日、共同事業の実施について合意に至ったため、本契約を締結いたしました。

(ご参考) 2022年7月13日公表

ワンダープラネット、シンガポール子会社WPBCがGame Changer (SGP) Pte. Ltd.とグローバルエリアにおけるブロックチェーンゲームの共同事業に関する基本合意書を締結

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4199/tdnet/2156617/00.pdf>

2. 共同事業の概要

今回の共同事業においては、Game Changer社はWeb3ゲームプラットフォームの運営とパブリッシング業務の実施を含むゲーム提供への投資を行い、WPBCはGame Changer社が独自に発行を行う暗号トークンGame Changer Token (\$GC) (以下「GCトークン」という。)のアロケーション (割当) を受け、デベロッパーとしてブロックチェーンゲームの開発・運営業務を担います。また、GCトークンは、今後、海外においてIEO (取引所を介した上場) を予定しております。

なお、WPBCが割当を受ける予定の暗号トークンの金額につきましては、今後Game Changer社やその他のパートナーと事業展開を行っていく上で重要な要件であり、良好な関係を築き円滑な事業展開に取り組むため、非公表とさせていただきます。

本契約の締結を機に、WPBCではブロックチェーンゲームの開発を進め、サービスの開始に向け、両社において更に詳細な検討と準備を進めて参ります。本件ゲームタイトルは、2023年8月期中のサービス開始を予定しております。

3. 相手先の概要

(1)	名称	Game Changer (SGP) Pte. Ltd.	
(2)	所在地	531A Upper Cross Street, #04-98 Hong Lim Complex, Singapore 051531	
(3)	代表者の役職・氏名	Director LAN HOANG	
(4)	事業内容	ブロックチェーンゲームプラットフォーム事業	
(5)	資本金	1,000 シンガポールドル	
(6)	設立年月日	2021年5月11日	
(7)	大株主および持株比率	LAN HOANG 100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態	当該会社は、非公開会社であり、当該会社の意向により、非開示としております。	

【海外子会社の概要】

(1)	名称	WPBC Pte. Ltd.	
(2)	所在地	3 Fraser Street, #05-22 DUO Tower, Singapore 189352	
(3)	代表者の役職・氏名	Director 常川 友樹	
(4)	事業内容	ブロックチェーンゲーム関連事業	
(5)	資本金	1 シンガポールドル (注)	
(6)	設立年月日	2022年5月30日	
(7)	大株主および持株比率	ワンダープラネット株式会社 100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社100%出資による子会社です。
		人的関係	当社取締役が当該会社のDirectorを兼務しております。
		取引関係	現時点での該当事項はありません。

(注) 設立時の資本金であり、今後当社を引受先とする増資を行う予定です。

4. 今後の見通し

当社は、2022年7月に新規リリースした『アリスフィクション』の動向が会社全体の業績への影響が大きい状況が続いております。そのため、今回の共同事業も当社負担となる準備費用を抑制することが必要と考えており、2023年8月期業績への影響が限定的となる提携内容としております。

なお、割当を受けるGCトークンは、会計処理方法として資産に計上することとし、評価損益は発生しないことを現時点では想定しております。これらのことから、本件による2023年8月期の業績への影響は、現時点で軽微であると考えておりますが、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示をいたします。

以上